

省力化と適切な栽培管理によるマンゴーの単収・品質の向上 ～有限会社 農業生産法人 亜熱帯工房 宮古島（沖縄県宮古島市）～

経営体の概要

事業実施前

基幹作物：マンゴー（0.5ha施設）

メロン・インゲンマメ（0.2ha）

経営面積：0.7ha

現在：令和6年

基幹作物：マンゴー（0.8ha施設）

経営面積：0.8ha

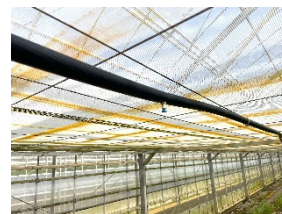
土地改良事業による生産基盤（農地、農業水利施設等）の変化

【事業実施前】

●農地にかんがい施設がなく、近隣の古井戸からポンプで揚水し、かん水を行っていた。

【現在】

●かんがい施設の整備により農業用水が安定的に供給されたことで、かん水作業に必要な労働時間や経費の節減が図られた。



ハウス内に設置されたかん水設備

営農改善、経営転換等のポイント

①単収・品質の向上及び規模拡大

事業により農業用水が安定的に供給されたことで、マンゴーの栽培指針に沿ったかん水が可能になるとともに、かん水作業に必要な労働時間や経費の節減が図られるようになったことで、余剰時間を栽培管理等に費やすことができるようになり、単収・品質の向上につながった。併せて、規模拡大したことにより、マンゴーの生産量が事業実施前に比べて増加し、多様な販路の確保と併せて売上も増大した。

②省力化と適切な栽培管理

農薬を極力減らし有機質資材を用いる減農薬栽培に取り組み、かんがい施設の水压を利用した液肥混入器の活用による肥料コスト低減、散布効率化を実現したほか、晩成品種の導入による収穫期間の分散化に取り組んでいる。

また、ハウスの天井を低くし、作物の生育方向を横に誘導し、目線の位置に結実するよう樹高の調整をすることにより、収穫作業の負担軽減だけでなく、適切な栽培管理にも繋げている。

③流通・販売の工夫

百貨店等との契約販売を行っており、年度毎に収穫量や品質の見通しを立てて、出荷の3ヶ月前には取引先と出荷量の調整を行っている。

また、自前で整備した加工・販売施設においてマンゴーを使ったジュース、アイスクリーム等の加工販売にも取り組んでいる。



マンゴー栽培の様子



直売所の外観写真



加工・販売商品

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業

関係市町：宮古島市

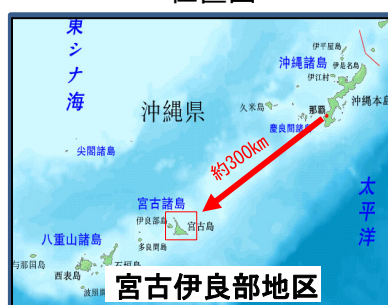
受益面積：9,156ha

事業期間：宮古地区（昭和62年度～平成12年度）
宮古伊良部地区（平成21年度～）

事業目的：畑地かんがい

主要工事：地下ダム2か所、副貯水池1か所
揚水機場1か所、用水路55.0km
水管理施設一式

位置図



＜問い合わせ先＞

沖縄総合事務局

農村振興課

企画指導官

電話：098-866-1652

（内線：83338）

（令和6年度調査時点）